

あなたと多良間村議会をつなぐ



# 村議会だより

CONTENTS

## 12月定例会

- P.2 令和4年 第4回定例会審議結果
- P.3-7 一般質問(5名登壇)
- P.8 議会トピック、臨時会の主な審議結果、編集後記

村公式HPでも  
読めます



# 令和4年度 第4回定例会審議結果

審議した件名	概要	結果
令和4年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,814万7,000円を追加し、36億9,142万4,000円とする	原案 可決
令和4年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,972万1,000円を追加し、1億6,465万3,000円とする	原案 可決
令和4年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,082万3,000円を減額し、1億1,176万7,000円とする	原案 可決
令和4年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ3万5,000円を追加し、1億4,409万2,000円とする	原案 可決
令和4年度多良間村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ8万5,000円を減額し、1,067万5,000円とする	原案 可決
多良間村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	定年引き上げを目的とした地方公務員法の改正に伴い、職員の定年を引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制等を導入する	原案 可決
多良間村職員の再任用に関する条例の廃止について	定年引き上げを目的とした地方公務員法の改正に伴い、現行の再任用制度を廃止する	原案 可決
多良間村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	沖縄県人事委員会の給与勧告並びに国、県及び他の市町村職員の給与改定を考慮し、職員の給与に関する条例の一部を改正する必要があるほか、定年引き上げを目的とした地方公務員法の改正に伴い、60歳を超える職員の給与の取り扱いに関する特例を設ける等、所要の改正を行う	原案 可決
多良間村職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	定年引き上げを目的とした地方公務員法の改正に伴い、規定の整備を行う必要がある	原案 可決
職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	定年引き上げを目的とした地方公務員法の改正に伴い、職員の減給に対する特例を設ける等する	原案 可決
多良間辺地に係る公共的施設の総合整備計画(第8次計画)の変更について	辺地に係る公共的施設の総合的整備のための財政上の特別措置等に関する法律(昭和37年法律第88号)第3条の規定による	原案 可決
あらたに生じた土地の確認について	場所:多良間村字仲筋マガリ原 1926番7 面積:1,956㎡	原案 可決
多良間港(前泊地区)屋根付き荷捌き施設に係る指定管理の指定について	団体の名称:合資会社多良間海運 代表者:伊良皆光夫	原案 可決



とみやま つねかず  
豊見山 常和 議員

問

医療費支援について

答

医療費限度額の申請  
をしていただきたい

とで、今チエックをしているところ  
です。それで、何回かやり取りして、  
一応12月中には許可が下りて、来年、  
年明けから仕事を早急に進めてまい  
りたいと思っております。

質問

これは、仲筋地区のやり方と同じ  
ような方法でやるのですか。

土木建設課長

図面で調査しまして、トウブリ  
一カ所一カ所を調整して、検討して  
新たに図面のほうもやり替えており  
ます。

質問

公図、図面どおりではなく、例え  
ば、少し狭くしたりだとか、こういっ  
たものに関して考えられなかった  
のか。

土木建設課長

やはり広げても通えていたのが通  
えなくなるとか、そういったのがな  
いのですので、議員からのご提案も、  
我々も持ち帰って、いい案を練り直  
して、いい道ができるように努めたい  
と思えます。

質問

観光振興課から配布されたパンフ

土木建設課長

確かに美しい村と、こういった整  
備のほうはリンクしてくると思いま  
す。少しでも自然を残しながら、と  
いう考えで、またいろいろ希少動物  
等も多いですし、そういったのを考  
えながら、今後進めてまいりたいと  
思います。

■ 施術に係る医療費負担は

近年、島内においても、白内障の  
問題が目立ってきている。多くの  
方々が手術となつていますが、これ  
に対して少しでも負担を軽くするよ  
うな方法はないか。

住民福祉課長

医療費限度額を申請していただ  
き、それを利用していただければ  
と思っております。

■ 危険箇所調査等について

高穴漁港の入り口で、台風によつ  
て案内板鉄柱が倒れている。事前に  
調査することはできなかったのか。

土木建設課長

12月補正で予算を調査、設計まで  
計上しております。今年度中に調査  
を完了いたしましたして、来年度の当初

予算に工事費を計上ということ、  
組んでいきたいと思えます。

■ トウブリ道関連について

公図上、道路高低差というのがな  
ければ、元の道路の造り方で浜まで  
行けるような設計はできなかった  
のか。  
仲筋地区のトウブリは整備されて  
きました。塩川地区の場合はどうな  
るのですか。

土木建設課長

精査、審査のほうがちやんとでき  
なかったかなと。ちゃんとできてい  
れば、今までどおりのなだらかな浜  
に下りていくようなこともあったか  
なと思えます。

塩川地区は7月19日に県に申請は  
してあります。書類が莫大というこ



ウカパトウブリ



とみしろ げんこう 議員  
豊見城 玄弘

**問**

簡易水道事業広域化  
について

**答**

新しい広域化プラン  
を策定中

**住民福祉課長**

約10億以上の費用が今後見込まれます。これを整備していくためには、村単独だけの費用ではできないので、補助事業や起債・借金、そういったものを利用しながら整備していくと、それなりに経費がかかると試算されておりあります。

**村長**

でいるようですが、どのような範囲や将来での広域化を考えているのか。

**■有収水量・無収水量について**

簡易水道事業で製造された水のうち、料金収入が得られた水道である有収水量と、無収水量もしくは無効水量について、現状を伺う。

の悪さですが、宮古島市では90%以上の有収率である。それに対して多良間村では、77.2%しかないのはなぜか。

**住民福祉課長**

直近、令和2年度のデータで説明します。まず、年間給水量17万823立方、有効水量13万1,878立方メートル、この有効水量を年間給水量で割ったのが有収率となり、令和2年度は77.2%となっています。無効水量というのは漏水等の不明瞭量でありまして、3万8,945立方メートルとなっています。

**住民福祉課長**

有収率の低下という原因は、漏水、あと不明水、メーターが引かれていないところとか、そういった不明瞭、不明水です。そういったのも考えられると思います。あとは、家庭に配送される中での機器類、メーター手前とか、ちゃんと接続されていない部分があったりとか、そういった箇所での漏水も考えられると思います。

**■更新需要について**

現段階でどれだけの設備等の更新需要があるのか伺う。

**■水道施設資産管理について**

国からの指導を受けながら作成した手引に準じて水道事業を行っているのであれば、それについて伺う。

**住民福祉課長**

早急に更新しなければならぬ施設もあります。その中でも、まだ延命ということで修繕等、補修等行つて今、延命して施設を運営しているところがあります。広域化に向けての県のやり取りもある中、そういった資料を基に早急に取り組んでいきたいと思ひます。

**■広域化について**

県は水道事業の基盤強化支援や水道広域化の推進がなされている。多良間村でも広域化について取り組ん

多良間村の広域化については、以前から県のほうに要望・要請をできています。ただ、これまでの県の広域化推進プランではまず第1ステップが、沖縄本島周辺離島を広域化。そして、第2ステップが久米島・本島北部の広域化。第3ステップが先島圏域、いわゆる宮古圏域、八重山圏域、宮古圏域が、まずは宮古島市と多良間村が広域化する。そして、八重山が石垣市、与那国、竹富町が広域化するとなっています。ただ、宮古島市は広域化を希望していません。また、八重山も石垣市が広域化を希望していません。ですから多良間村、八重山圏域では竹富町が希望していますので、多良間村・竹富町も第2ステップのほうに入れながら、今現在、新しい広域化推進プランを策定中でありまして。そのプランには是非入れていただきたいと強く要望しているところです。



**質問**

ものすごい無効水量の量と有収率



かきはな ゆきのり  
垣花 幸徳 議員

## 問 たらま食堂の募集について

## 答 ホームページ等で募集をかけている

### ■たらま食堂の募集の現状は

たらま食堂は、令和2年9月頃に2階の食堂施設がほぼ完成しているが、2年以上も放置されている状態である。オープンの目処もたっていない。食堂施設への応募は今まで何件あったのか何う。

#### 観光振興課長

企業が二件、個人が一件となっています。

企業の方から拠点施設の食堂の件に関して興味を示している方が一業者、そして、一業者は来島して、たらま食堂を視察しております。ただ、問題点としては、食堂だけの経営はなかなか難しいということで契約には至っておりません。

#### 質問

今現在の取り組みはどのようにしているのか何う。

#### 観光振興課長

12月5日から多良間村地域振興拠点施設飲食店たらま食堂の運営事業者の募集を役場掲示板に告示して貼り出してあります。そして、12月7日に多良間村ホームページ、12月8日に多良間村ふしやぬふ観光協会のホームページに募集要項、企業者募集に係る条件と出店申込書表明書等を運営事業者の募集として記載しております。

事業者募集期間が12月5日から2月28日までとなっておりますので、一日でも早く運営事業者の申込みがあることを期待しております。そし

て、施設の管理運営委託に伴う指定管理者の指定に向けて取り組んでいきたいと思えます。

#### 意見

ただ申込みがあることを期待して椅子に座って待っているだけです。今までも1年間、結局何もやってこなかった。食堂がオープンすることで拠点施設の活性化にもつながっていくと思うので、早めのオープンを目指してください。

### ■コンテナハウスについて

天川地区内のコンテナハウスが完成しているが、入居者の募集がされていないのはなぜか。コンテナハウスに何か不備があるのか、それとも別の理由があるのか何う。

#### 土木建設課長

不備については我々も月に一度、大雨が降ったとき、点検に行く等しております。前回のものは屋根がそのまま直接雨に打たれている造り方でしたが、今回はトタン張りをして、建築はしております。それによって大分効果が出ています。湿気もない

ですし、雨漏りも見当たらないという事です。

本来なら入居者募集を公募するのですが、現在、住民福祉課の歯医者さんと教育委員会の教諭と観光振興課の協会の職員のほうが今、家がないという状況で、そこを優先としてコンテナハウスの設置及び管理に関する条例の入居資格特例ということで、その他村長が認めた者として急を要する、入居が必要ということで、今回は公募はかけておりません。

### ■トウブリ道整備について

トウブリ道整備については、入札して、いざ工事を着工しようとするけどストップがかかり今現在に至っている。業者の方には十分な説明をして受け入れてもらえたのか何う。

#### 土木建設課長

確かに半年間もストップしている状況で、業者にはご迷惑をかけております。業者には十分な説明をして、何とか納得していただいていると思っておりますが、確かに業者さんに対しては大変申し訳ないと思っております。



とみやま ただし  
**豊見山 正** 議員

**問**

和解金1億8,000万円は  
本村の不適切な工程管理を  
認めたのか

**答**

現場を担当した者は決して手  
を抜いたりとかはなかった

■裁判所の和解案は不適切工  
程管理を認めたもの

多良間村は、原告である月島機械  
に対し、1億9,562万円余を支  
払えというのが訴訟の趣旨である。

基礎工事の遅れから大幅な工程の  
遅れが生じていたにもかかわらず、  
村側が多少の変更はあるものの全体  
としては従来どおりの工期に変更は  
ないと返答している。これは、工事  
の初期段階での村側の大きな判断  
ミスであり、不適切な工程管理で  
あった。

月島機械は、工程の再確認をした  
上で、機械器具や重機類、職員や職  
人を現場に送り込んだが、機械器具  
の設置工事に着手できる状態にはな  
く、不要な滞在を強いられたとして

いる。それに対する一切の報告等が  
なかったことは発注者として、信義  
にもとる行為であったと言わざるを  
得ない。

今回の訴訟に対する和解金額  
は、月島機械が求めた約1億9,  
562万円を、ほぼ近い1億8,  
000万円を支払えとなっており、  
本村の不適切な工程管理を認めたも  
のである。このことについて、村長  
は村民に心配をかけたと報道をされ  
ているが、本件に関する村長の認識  
を伺いたい。

を伺いたい。

**村長**

この訴訟は支払った分を除いて  
1億62万5,066円及び遅延損害金

の支払いを認めた訴訟である。約4  
年この訴訟が続いてきて、このたび  
の勧告は1億8,000万、調停より  
も3,000万増えた。調停より3,  
000万増えたけれども、多良間村  
はそれで理解をしている。

**質問**

和解勧告の金額にも表れていると  
おり、多良間村の不適切な施工工程  
管理に基づいて、この金額が発生し  
ているということを経理は見落とし  
ている。1億5,000万の調停を  
議会が否決したのもその辺にある。  
その原因は社会情勢だの、どうのこ  
うの、実際はそうではない。そのこ  
とに一番中心に関わってきた副村  
長に認識を伺いたい。

**副村長**

大きな原因はやはり工期が延びた  
ことということ。全国規模的な流れ  
の中で作業員の確保ができなかった  
こと、これが大きな理由である。当  
時の主任監督も含めて、現場を担当  
した者は、決して手を抜いたりとか

はなかった。

**意見**

今、副村長から答弁がありました  
が、見落としていることは、製糖工  
場の建設工事が一社に発注されてい  
れば分かるが、これは分離発注であ  
る。分離発注ということは、それぞ  
れの工程を発注者である多良間村は  
把握しながら進めないといけない。  
けれども、建屋にばかり気を取られ  
て、一方の月島機械(株)の工程に関し  
てルーズであった。両方を見て、中  
心に立って工程を管理していくのが  
村の立場。これを怠ったのが今回の  
大きな1億8,000万という損害  
賠償金につながっていることを強調  
したい。





もりやま さねお 議員  
森山 実夫

問

答

## 多良間漁港のトイレ・シャワー整備はソフト交付金の活用を検討中

質問

多良間漁港は村の管理管轄と聞いているが、なぜ今まで、こういう施設ができなかったのか伺う

産業経済課長

県漁港の多良間漁港は村に移管されており、村管理の漁港になっております。漁港再生地域として、000平米ほどが村有地となっております。

村の計画がこれまでなされなかったということが問題になっています。

要望

レジャーに関わる業者さんからも、多良間村にも多くの観光客が来島されていると聞いている。今後は観光事業も推進する以上、来訪者や観光客に思いやりのある島として、この

多良間漁港のトイレ、シャワー施設を検討していただきたい。



多良間漁港の村有地

産業経済課長

平張りハウスのほうが今、4軒でトウガラシ等について栽培いたしております。村以外の農家としては6軒だと思います。

要望

今後、水あり農業をする中では、農業組織をつくらないと、大量生産にはつながらないと思う。

意欲のある農家には積極的に行政も支援し、育てていくのが大事だと考えられる。今後の取組として、園芸等のハウス栽培を目指す農家に対しては、行政から水あり農業に役立つような支援をしていただきたい。

## 農業生産振興について

近年、本村の農業も変わりつつあり、本村の第1次産業は、数年後にはほぼ機械化になると思われる。こうした中、新たに考えられる農業は園芸だと思う。現在、本村が取り組んでいる国営事業を想定した園芸農業の指導をされていると聞いている。現在、園芸を目指す農家は何軒か、そして、ハウス導入されている農家は何軒か伺う。

ハウス栽培のメロン



国営事業実証圃場ビニールハウス

# 議 会 ト ピ ッ ク

## 2022年12月定例会 管内視察報告



12月13日(火)管内視察で前泊港、普天間港、多良間漁港の廃船・放置船の現状を確認した。

各港には、数十年間放置されたと思われる廃船・放置船がいくつもあり、景観が損なわれている。



### 令和4年開催臨時会の主な審議結果

臨時会	件名	概要	結果
第2回	議案第24号 工事請負契約の締結について	契約の目的：令和4年度放送ネットワーク整備支援事業及び無線システム普及支援事業・多良間村 FTTH 化工事 契約方法：一般競争入札 契約金額：187,000,000円(消費税込み) 契約の相手方：住友電気工業株式会社	原案 可決
第3回	議案第25号 工事請負契約の締結について	契約の目的：多良間村ごみ焼却施設基幹的施設整備工事 契約方法：指名競争入札 契約金額：418,000,000円(消費税込み) 契約の相手方：株式会社開邦工業	原案 可決
第4回	議案第39号 令和4年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	6款農林水産業費 1項農業費 補正額 50,000,000円(製糖工場煙突復旧費用)	原案 可決
第5回	議案第41号 工事請負契約の締結について	契約の目的：たらびん公園整備工事 契約方法：指名競争入札 契約金額：64,680,000円(消費税込み) 契約の相手方：有限会社知念重機産業	原案 可決
第5回	議案第42号 財産取得について	取得の目的：緊急車両購入 財産の名称・数量：消防車 1台 取得の方法：指名競争入札 取得の価格：50,160,000円(消費税込み)	原案 可決
第5回	議案第43号 教育委員会委員の任命について	氏名：佐久本洋平	原案 可決
第5回	議案第44号 訴訟の和解について	本村と月島機械株式会社との多良間村製糖施設(含みつ糖製造)機械器具設置工事に関する追加費用請求事件について、追加費用8千万円(追加費用総額1億8千万円)で和解をしたい	原案 可決

### 編集後記

製糖期も終了し、農家の皆さんにとってはほっと一息ついた所でしょう。今年度のさとうきびの総收穫量は、2万1,172トンで平均糖度は14.34度であったようです。

三年余のコロナ禍におけるマスク着用も解かれ、任意着用となり、やっと顔全体が見えるようになりました。しかし、コロナ感染症はまだ収束したわけではありません。油断禁物です。今後も基本的な感染症対策に心がけましょう。

本土あたりでも五月後半なみの気温上昇で半袖姿が目立った日が続いたようです。

いよいよ夏本番がやってきます。暑さ対策、熱中症対策も心配です。

議会広報委員  
豊見山 常和

